

国際社会は持続可能な社会の実現に向けて大きく動きはじめています。国連のSDGs(持続可能な開発目標)が浸透し、さらに環境・社会・ガバナンスといった非財務情報を重視するESG投資が拡大しています。エスペックにおいてもSDGsを視野にいたした課題に取り組んでおり、私たちの強みとする環境創造技術を駆使し、事業を通じて社会の持続的な発展に貢献したいと考えています。

今年3月には、ステークホルダーとの関係から将来像を描いた「ESPEC Vision 2025」を策定しました。これは顧客や株主、従業員、取引先、地域社会といったステークホルダーのみなさまにエスペックが果たしたい約束を設定したものです。今後はこれをもとにステークホルダーとのエンゲージメントをより強化してまいります。

本年度から「ESPEC Vision 2025」の実現に向けて中期経営計画プログレッシブ プラン2021(計画実施期間:2018~2021年度)がスタートしました。戦略投資と着実な質の向上による安定的かつ継続的な成長を基本方針とし、人材や技術の質的向上や価値交換性の高い事業、高付加価値製品の創出に取り組んでまいります。また、第7次環境中期計画(計画実施期間:2018~2021年度)を策定し、地球温暖化防止に貢献する製品・サービスの提供、環境負荷低減、生物多様性保全などの5つのテーマのもと具体的な活動を行っています。

私たちは社員と経営が一体化し活気にあふれる企業文化をつくるとともに、多様な人材が活躍できるダイバーシティの推進や社員が持つ力を発揮できる環境づくりを積極的に推進しています。

これからもエスペックとステークホルダーのみなさまとの価値交換性を高めることで、社会や人々から必要とされる存在になることを目指してまいります。

代表取締役社長

石田雅昭

